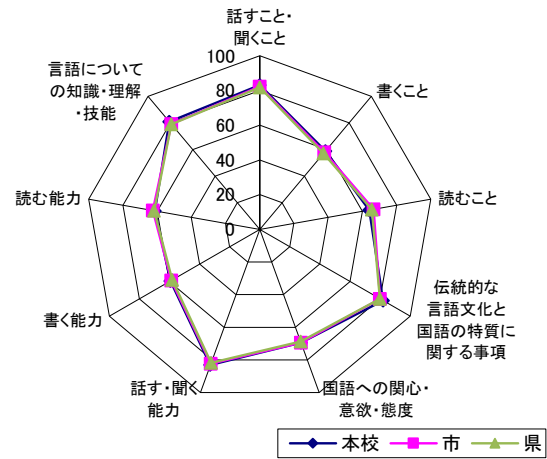


宇都宮市立雀宮中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	83.1	82.3	81.8
	書くこと	58.8	58.0	57.2
	読むこと	64.0	66.6	65.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	82.0	80.0	79.9
観点	国語への関心・意欲・態度	69.5	69.4	68.8
	話す・聞く能力	83.1	82.3	81.8
	書く能力	59.4	58.8	58.1
	読む能力	61.3	62.5	61.7
	言語についての知識・理解・技能	81.0	79.2	79.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率が市平均より0.8ポイント、県平均より1.3ポイント上回っている。 ○話の内容を正確に聞き取ることができている。 ●読む能力に努力を要する。	・聞き取り問題を、各学年で年間6回程度実施し、問題の解説の際に、再度CDを聴かせ、聞き取るポイントについてより理解が深まるよう指導することによって効果が得られているので、今後も継続して指導していく。
書くこと	平均正答率が市平均より0.8ポイント、県平均より1.6ポイント下回っている。 ○読み取った内容を明確に書くことができている。 ●作文能力に課題が見られる。書き方の指示に従うことや、分かりやすい文章にするための工夫をしながら書くことを苦手とする。	・授業において、感想文や意見文等、自分の考えを作文用紙を使って書く活動を多く取り入れる。その際、基本的な作文の書き方を確認し、自己評価できるようポイントを絞って指導したい。
読むこと	平均正答率が市平均より2.6ポイント、県平均より1.6ポイント下回っている。 ○場面の展開を捉えることができている。文学作品の内容の理解はある程度できている。 ●文章の展開に即して要旨をとらえることに課題が見られる。	・多くの文学に触れさせる機会を設け、読み取りの活動を行うことで、文章の細かな理解力(構成、登場人物の心情等)を育てる。 ・答えにつながる重要な文を探させたり、段落ごとの理解をさせたりする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率が市平均より2.0ポイント下回り、県平均より2.1ポイント上回っている。 ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せたり、故事成語について理解していたりするなど、基本的知識・事項を捉えられていた。 ●学習した漢字を覚えていない生徒が多く見られる。	・漢字や文法の知識を確実に定着できるよう小テストを実施する。また、間違った学習事項は家庭学習で再度復習するよう助言する。 ・小学校からの既習事項を想起させる小テストなどの課題演習を授業に取り入れる。